

エコアクション21

環境活動レポート

2019年度版

(2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年6月24日発行



東急テクノシステム

目次

1. はじめに
2. 経営理念
3. 会社概要
4. 認証・登録対象範囲
5. 環境方針
6. 環境目標設定
7. 環境活動計画
8. 環境目標の実績
9. 活動計画の取組み結果と評価および次年度の取組み内容
10. 過去6年間の二酸化炭素排出量等の推移
11. 環境活動報告(緊急事態訓練)
12. 環境関連法規とその遵守状況
13. 代表者による全体評価と見直し結果

1. はじめに

当社は、1940年3月に東京横濱電鉄(株)(現在の東京急行電鉄(株))の鉄道車両修理・改造を行う会社として設立されました。

当社の事業を大きく分類すると、鉄道車両やバスの修理改造と運転シミュレータ等電子教材の開発をしている交通事業、鉄道に関わる信号や変電所等電気設備工事を行う電設事業の2つがあります。

このように、製造業と建設業の2つを併せ持つ当社は環境活動に取り組んでいく中でもそれぞれの事業に合わせた環境活動を展開しております。

2. 経営理念

〈 東急テクノシステム 経営理念 〉

スローガン

今日の安心を、明日へ、未来へ。

企業理念

私たちは、「普通」が「普通」であり続けることこそ、とても大切に、幸せなことだと思っています。

電車など街の施設を利用して暮らしを送る人々が、安心して、安全、快適に暮らせること。

そんな、毎日の幸せを、これまでの経験で培われた、確かな技術・柔軟な対応力・信頼を得る提案力で、私たちは創り続けます。

行動指針

- これまで蓄積してきた技術力を次の世代に引き継ぎ、さらに高めながら、信頼の技術を提供し続けます。
- 常に妥協をしない姿勢を忘れず、顧客や社会の思いに親身に応えていきます。
- 人々のニーズを先取りした快適性を日々追求し、提案していきます。



 東急テクノシステム

2011年1月1日制定

「将来に目指す企業像を明確化」するためこの「経営理念」を、2011年1月1日に制定しました。社員一同、この経営理念を具現化すべく、日々の業務にあたっています。

3. 会社概要	(2020年3月31日現在)
社名	東急テクノシステム株式会社
設立	1940年(昭和15年)3月20日
資本金	4億8000万円
代表者	取締役社長 村田 和夫
従業員数	543名(2019年度全社従業員) ※497名(2019年度エコアクション21対象範囲事業所)
売上高	144億円(2019年度全社売上高) ※118億円(2019年度エコアクション21対象範囲事業所)
許可・認可	(1) 建設業許可:国土交通大臣許可(特-29)第2307号 有効期間 平成29年11月26日から平成34年11月25日まで (2) 整備工場認可:東京陸運局長認証2-1809
本社	〒211-0067 神奈川県川崎市中原区今井上町11-21
環境管理責任者	取締役 森山 依子
担当者	CSR推進室 担当課長 山田 勝也
連絡先	TEL:044(733)4351 FAX:044(733)4357 メールアドレス:info@tokyu-techno.co.jp
事業内容	鉄道車両及び自動車車体と、それに付属する機器の修理・再生 電子技術機器の製作 鉄道電気(電車線・信号・駅設備・変電・通信)工事 建築物電気設備工事

【 事業所 】

本社・中原工場	〒211-0067 神奈川県川崎市中原区今井上町11-21
電設総合事務所	〒216-0002 神奈川県川崎市宮前区東有馬2-2-15
長津田工場	〒227-8540 神奈川県横浜市青葉区恩田町704
四ツ木事務所	〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木4-32-15
上永谷事業所	〒234-0056 神奈川県横浜市港南区野庭町713横浜市交通局修繕工場内
久里浜事業所	〒239-0805 神奈川県横須賀市舟倉2-4-1京浜急行電鉄(株)久里浜工場内
かしわ台事業所	〒243-0402 神奈川県海老名市柏ヶ谷997相模鉄道(株)車両センター内
西白井事務所	〒270-1431 千葉県白井市根1059-2

エコアクション21対象事業所の規模

売上高:118億円(2019年度エコアクション21対象範囲事業所)

	本社・ 中原工場	電設総合事務所	長津田工場	四ツ木事務所	合計
従業員数(人)	135	200	129	12	476
延床面積(m ²)	3,671	3,151	5,073	610	12,505
売上高(百万円)	1,500	7,897	1,930	494	11,821
建設工事件数	-	808	-	38	846

取引先敷地内にある事業所(2018年度から従業員のみ対象範囲となる)

	かしわ台事業所	西白井事務所			合計
従業員数(人)	8	13			21
延床面積(m ²)					0
売上高(百万円)	710	785			1,495
建設工事件数	-	78			78

4. 認証・登録対象範囲

鉄道車両及び自動車車体と、それに付属する機器の修理・再生

電子技術機器の製作

鉄道電気(電車線・信号・駅設備・変電・通信)工事

建築物電気設備工事

※久里浜事業所、上永谷事業所は取引先の環境マネジメントシステム内での活動を行なっているため、対象範囲外としています。

久里浜事業所 京急グループ環境基本方針およびその「行動指針」に準拠した環境活動

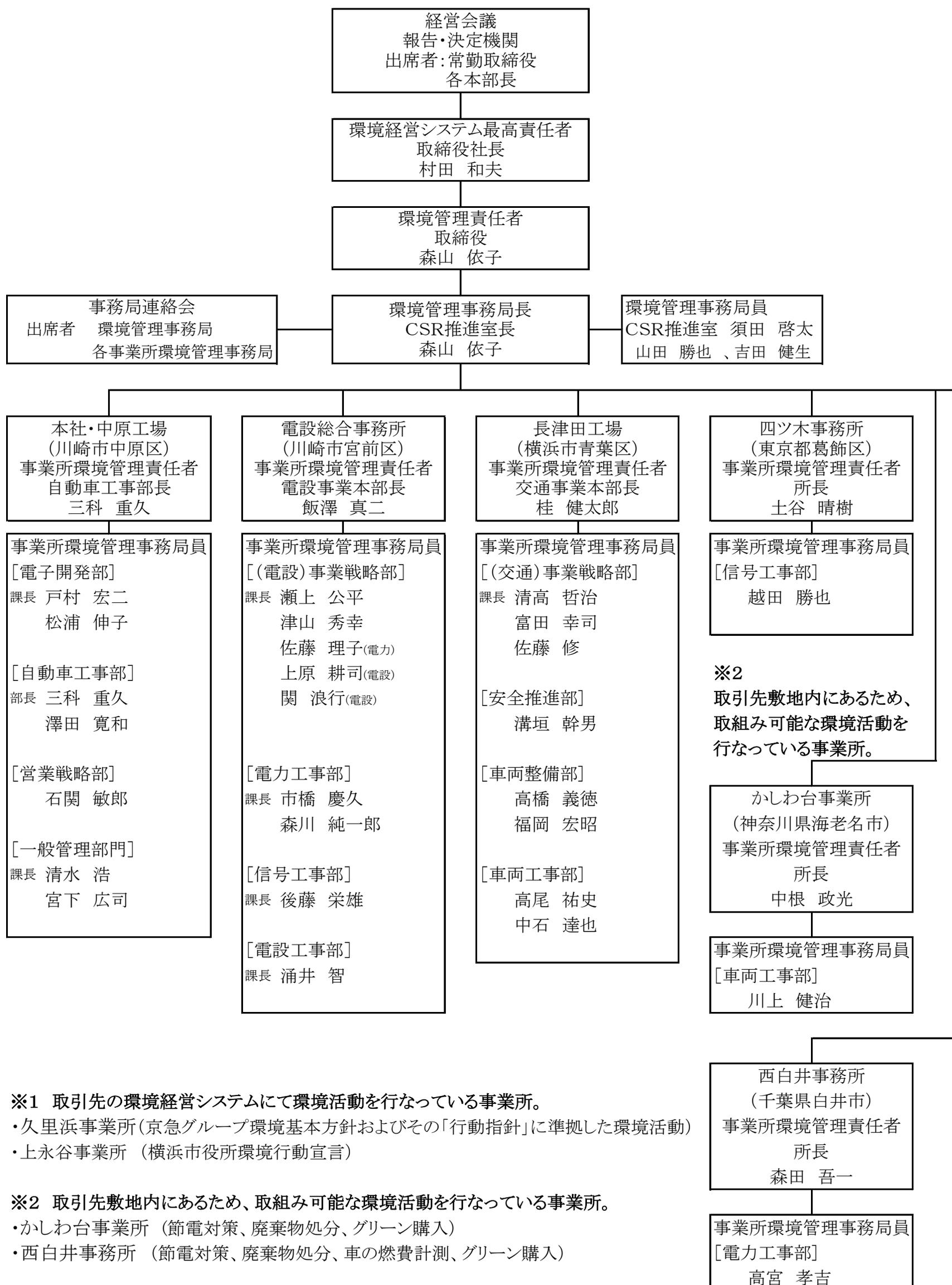
上永谷事業所 横浜市役所環境行動宣言

※かしわ台事業所、西白井事務所は取引先敷地内にあるため、取組み可能な環境活動を行なっている事業所です。それぞれの対象範囲は以下の通りです。

かしわ台事業所 (節電対策、廃棄物処分、グリーン購入、環境配慮提案)

西白井事務所 (節電対策、廃棄物処分、車の燃費計測、グリーン購入、環境配慮提案)

(1) 環境経営システム運用組織(2019年4月1日改定)



※1 取引先の環境経営システムにて環境活動を行なっている事業所。
 ・久里浜事業所(京急グループ環境基本方針およびその「行動指針」に準拠した環境活動)
 ・上永谷事業所 (横浜市役所環境行動宣言)

※2 取引先敷地内にあるため、取組み可能な環境活動を行なっている事業所。
 ・かしわ台事業所 (節電対策、廃棄物処分、グリーン購入)
 ・西白井事務所 (節電対策、廃棄物処分、車の燃費計測、グリーン購入)

(2) 当社は、エコアクション21のガイドラインの要求事項に沿って、環境経営システムを構築しその結果を評価し、見直しをするための社内各部門・各階層の役割を以下のように定め文書化して全構成員に周知する。

- ① 代表者・環境経営システム最高責任者(取締役社長)
 - (イ) 環境方針の設定
 - (ロ) 環境管理責任者の任命
 - (ハ) 環境経営システムの実施及び管理に必要な資源の準備
 - (ニ) 環境経営システムの定期的見直し(年1回)の実施
- ② 環境管理責任者(CSR推進室担当取締役)
 - (イ) 環境経営システムの確立、実施、維持、及び改善
 - (ロ) 環境経営システム最高責任者に対し、環境経営の取り組み状況と実績の報告
 - (ハ) 環境管理事務局の管掌
 - (ニ) 環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者
 - (ホ) 環境活動計画の進捗状況进行评估し、年度活動計画書の承認
- ③ 環境管理事務局長(CSR推進室部長)
 - (イ) 環境経営システムの実施体制の構築
 - (ロ) 環境経営システム最高責任者に対し、環境経営の取り組み状況と実績の報告
 - (ハ) 環境管理事務局の運営
 - (ニ) 環境関連文書及び記録の管理
 - (ホ) 環境活動計画の進捗状況を把握し、年度活動計画書の作成
 - (ヘ) 環境コミュニケーションの社外対応と社内調整担当
- ④ 事業所環境管理責任者(当該事業所の本部長もしくはその長)
 - (イ) 各事業所環境経営システムの確立、実施、維持、及び改善
 - (ロ) 環境経営システム最高責任者に対し、各事業所環境経営の取り組み状況と実績の報告
 - (ハ) 各事業所環境管理事務局の管掌
 - (ニ) 各事業所環境経営システムの教育・訓練の計画・実施責任者
 - (ホ) 各事業所環境活動計画の進捗状況を評価し、年度環境活動計画書の承認
- ⑤ 環境管理事務局員(環境管理事務局長直下の事務局員)
 - (イ) 年度環境活動計画書(全社)の作成と環境活動計画のまとめ
 - (ロ) 各事業所環境負荷データの収集と各種書類の作成
 - (ハ) 環境関連文書と記録の作成・整理
- ⑥ 事業所環境管理事務局員(事業所環境管理責任者直下の事務局員)
 - (イ) 年度環境活動計画書の作成
 - (ロ) 環境活動計画の実施
 - (ハ) 各部環境負荷データの収集と各種書類の作成
 - (ニ) 非常事態への対応準備、教育訓練の実施及び法令遵守

5. 環境方針

当社は2005年7月にはじめて環境方針を制定し、以来、数度の改定を行ってきました。日々の事業活動においても環境活動を推進することを明確にするため、環境方針を以下のとおり定めています。

認証・登録番号 0000652



環 境 方 針

【基本理念】

東急テクノシステム株式会社は、地球環境の保全、さらには地球環境の質的改善が人類共通の重要課題であることを全社員が強く認識し、企業活動のあらゆる面で環境に対するきめ細やかな取組みを行い、持続可能な循環型社会の実現に貢献します。

【活動方針】

1. 当社の事業活動に関する環境関連法規、条例及び当社が同意するその他の要求事項を遵守すると共に、さらに技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取り組めます。
2. 環境活動内容と環境負荷低減目標を具体的に設定し取り組めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
 - ② 事業系一般廃棄物の削減
 - ③ 産業廃棄物の削減
 - ④ 紙使用量の削減
 - ⑤ 排水量の削減
 - ⑥ 化学物質使用量の削減および保管管理
 - ⑦ グリーン購入の促進
 - ⑧ 環境配慮
3. 当社が生産・販売・提供する製品およびサービスに関して環境に配慮し、建設リサイクルを推進すると共に、環境配慮設計および原材料の調達を推進します。
4. 最高経営者によるシステム見直し及び内部監査を年1回実施し、環境マネジメントシステムの維持向上に取り組めます。
5. 環境上の緊急事態に対する訓練により環境汚染の予防を図ると共に、環境教育、社内広報活動などにより、従業員に対する環境方針の周知徹底に取り組めます。
6. この環境方針は社内外に公開します。

2016年 6月 24日

東急テクノシステム株式会社

取締役社長 村田 和夫

6. 環境目標設定

環境負荷項目		2019年度 (目標値)	2019年度 (実績値)	2020年度 (目標値)	2021年度 (目標値)	2022年度 (目標値)	2023年度 (目標値)	単位	基準年 削減値
売上高 (対象事業所)	全社	12,142 (予算)	13,315	15,180 (予算)	15,963 (予算)	16,505 (予算)	—	百万円	エコアクション21 対象事業所 2019年度実績値以降 かしわ台事業所含む 2019年度実績値以降 西白井事務所含む
	交通	3,826 (予算)	4,140	—	—	—	—		
	電設	7,948 (予算)	9,175	—	—	—	—		
1. 二酸化炭素排出量の削減 (電力・化石燃料)		716,616.6	724,514.6	717,279.0	710,117.1	703,026.4	609,003.0	CO2-kg	前年度実績値より 1%削減
原単位(1./売上高)		59.0	54.4	47.3	44.5	42.6	—	kg/百万円	
1-1. 電力使用量の削減		1,005,250.2	935,915.4	926,556.0	917,290.5	908,117.5	899,036.6	kwh	前年度実績値より 1%削減
原単位(1-1/売上高)		82.8	70.3	61.0	57.5	55.0	—	kwh/百万円	
1-2 ①. ガソリン使用量		55,971.4	64,138.6	63,497.3	62,862.5	62,233.7	61,610.9	L	前年度実績値より 1%削減
原単位(燃費)		9.70	9.88	9.98	10.08	10.18	10.28	km/L	
1-2 ②. 軽油使用量		16,067.8	23,039.8	22,809.8	22,582.0	22,356.6	22,132.8	L	前年度実績値より 1%削減
原単位(1-2 ②/売上高)		1.32	1.73	1.50	1.41	1.35	—	L/百万円	
1-2 ③-1. 都市ガス使用量		48,952.2	47,528.4	47,053.3	46,582.7	46,116.9	45,655.7	m ³	前年度実績値より 1%削減
原単位(1-2 ③-1/売上高)		4.03	3.57	3.10	2.92	2.79	—	m ³ /百万円	
1-2 ③-2. LPガス使用量		3,336.3	3,674.2	3,637.5	3,601.2	3,565.3	3,529.6	m ³	前年度実績値より 1%削減
原単位(1-2 ③-2/売上高)		0.27	0.28	0.24	0.23	0.22	—	m ³ /百万円	
1-2 ④. 灯油使用量		146.0	356.0	356.0	356.0	356.0	356.0	L	前年度実績値を 目標値とする
原単位(1-2 ④/売上高)		0.012	0.027	0.023	0.022	0.022	—	L/百万円	
2. 事業系一般廃棄物排出量		5,553.9	6,304.5	6,241.3	6,179.1	6,117.3	6,056.3	kg	前年度実績値より 1%削減
原単位(2./売上高)		0.46	0.47	0.41	0.39	0.37	—	kg/百万円	
3. 産業廃棄物排出量		401,119.3	463,186.3	463,186.3	463,186.3	463,186.3	463,186.3	kg	前年度実績値を 目標値とする
原単位(3./売上高)		33.0	34.8	30.5	29.0	28.1	—	kg/百万円	
4. 紙使用量		8,575.5	8,901.8	8,837.4	8,773.4	8,709.9	8,647.1	kg	前年度実績値より 1%削減
原単位(4./売上高)		0.71	0.67	0.58	0.55	0.53	—	kg/百万円	
5. 水使用量		10,681.2	10,650.9	10,544.9	10,439.7	10,335.2	10,232.1	m ³	前年度実績値より 1%削減
原単位(5./売上高)		0.88	0.80	0.69	0.65	0.63	—	m ³ /百万円	
6. 化学物質使用量		260.8	194.5	194.5	194.5	194.5	194.5	kg	前年度実績値を 目標値とする
原単位(6./売上高)		0.021	0.015	0.013	0.012	0.012	—	kg/百万円	
7. エコ購入		57.7	63.1	64.1	65.1	66.1	67.1	%	前年度実績値より 1ポイント向上
原単位(—)		—	—	—	—	—	—	—	
8. 環境配慮提案		54.0	51.0	54.0	54.0	54.0	54.0	件	事業所規模により 件数を設定
原単位		—	—	—	—	—	—	—	
9. 廃棄物リサイクルの促進		347,977.0	494,284.0	494,284.0	494,284.0	494,284.0	494,284.0	kg	前年度実績値を 目標値とする
原単位(9./売上高)		28.659	37.122	32.562	30.964	29.948	—	kg/百万円	

※目標値は、前年度実績値を基準として設定する。

7. 環境活動計画

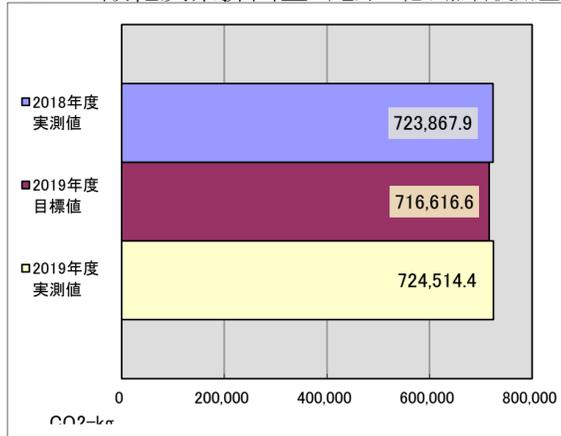
8. 環境目標の実績

9. 活動計画の取組み結果と評価および次年度の取組み内容

《 全社 》

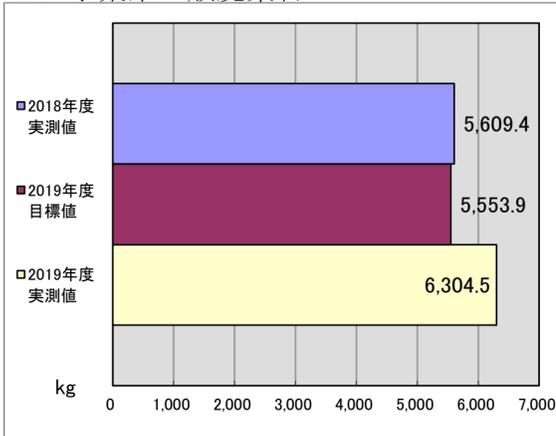
※2018年度実績値を基準として2019年度目標値を設定している。

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



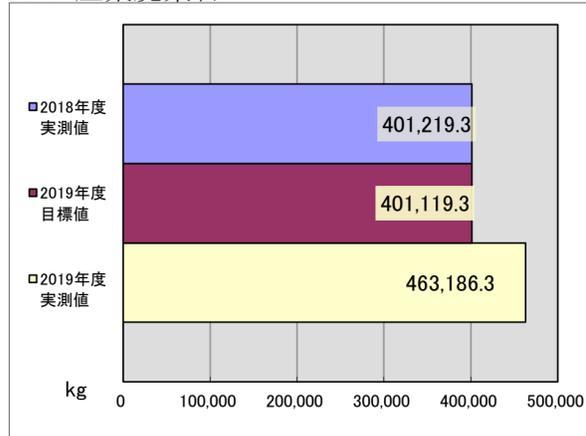
- 目標値に対し 1.10%の増加と目標達成に至らなかった。
- 電力使用量は、照明のLED化や人感センサー付器具の導入に加え、大型連休、冷夏の影響により 6.90%削減された。化石燃料は出張作業の増加、工事の輻輳によりガソリン、軽油共、使用量が増加した。
- ガスの使用量に関しては各事業所毎に独自の施策に取り組んだ結果、ガス全体のCO2換算値で 0.73%の削減となっている。

2. 事業系一般廃棄物



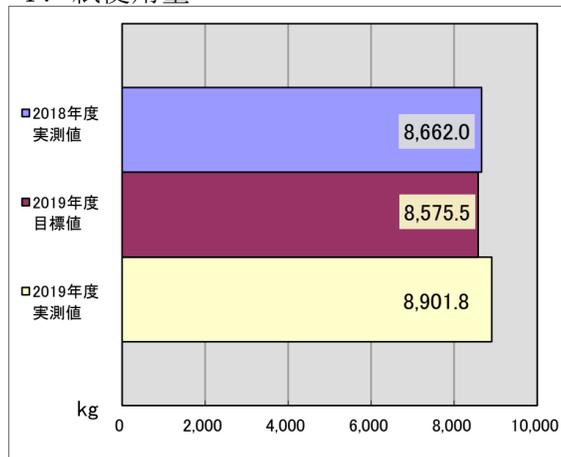
- 目標値に対し 13.51%の増加と目標達成には至らなかった。各事業所共にゴミの分別に対する意識や行動は浸透してきている。長津田工場の廃プラの一部が産廃から一般廃棄物へ、四ツ木事務所の缶や瓶、ペットボトルの処分方法が変更となったことも、その要因と考えられる。電設総合事務所では人員が増えたため排出量が増加したが、1人当たり排出量は減少している。

3. 産業廃棄物



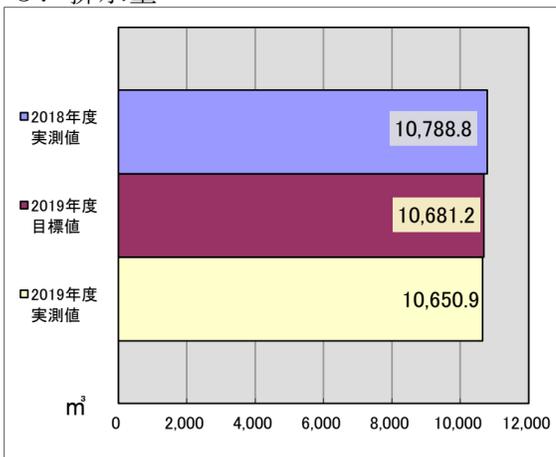
- 目標値に対し 15.47%増加し、目標達成に至らなかった。
- 産業廃棄物排出量は業務内容による影響が大きい。長津田工場では撤去工事が減少し、中原工場では、撤去品の分別作業が進んだため、排出量が減少した。
- 電設総合事務所、四ツ木事務所では撤去品の廃棄が増加し、西白井事務所では、溜まってきた産業廃棄物を処理したために目標未達成となった。

4. 紙使用量



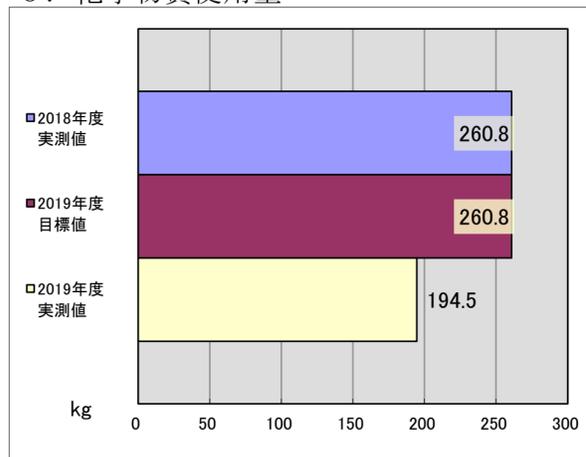
- 目標値に対し 3.81%の増加と目標達成に至らなかった。
- 会議等のペーパーレス化を推進し、タブレットやプロジェクターを等用いた会議が主流となり、紙使用が削減されているが、電設事業本部各事業所において、切替工事や竣工を迎える工事が多く、提出書類や打合せ資料の紙使用が増加した。

5. 排水量



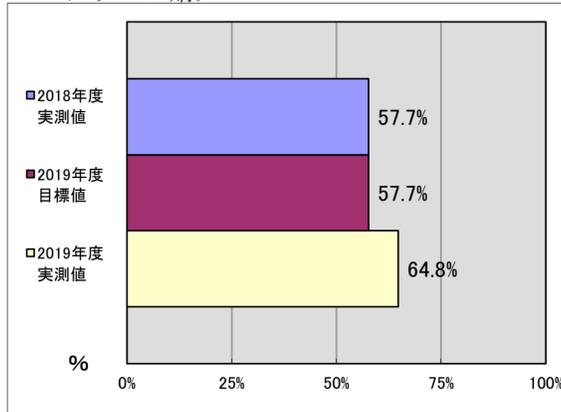
- 目標値に対し 0.28%削減と目標を達成した。
- 各事業所共水使用の多くは、ガスと同様風呂での使用である。長津田工場では夏季に浴槽の使用を制限し、11.9%の削減に繋がった。中原工場では、バスの入場時に洗車を行っており、入場車数に左右される。西白井事務所では、晴天時に敷地内に散水する必要が有る。節水は、すべての従業員が取組める活動の一つであり、目標が達成されたことは、環境意識の向上に繋がる。

6. 化学物質使用量



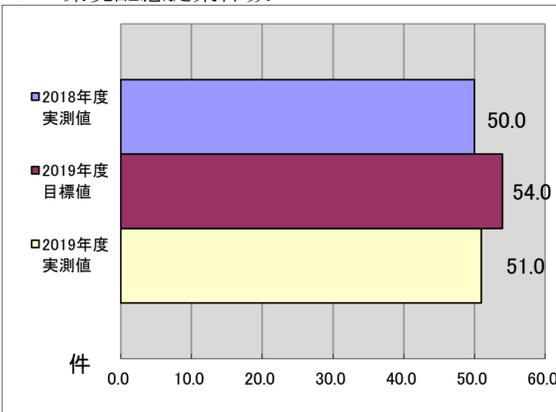
- 目標値に対し 25.40%の削減と目標達成に至った。
- 化学物質使用量は、工事の内容により数値が大きく変動する。中原工場並びに長津田工場ではエコフリー化が進み、大幅な削減に繋がった。

7. グリーン購入



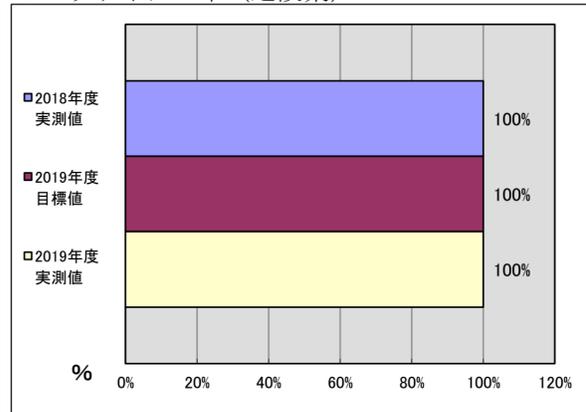
- 環境にやさしいグリーン商品が購入時の選択肢が増えて来たために、100%を達成したケースも出てきている。かしわ台事業所および西白井事務所は、100%に近い値が続いている。
- 2017年度版ガイドラインでは必須項目でなくなるが、環境問題を身近に感じることが出来る取組みとして「グリーン購入の促進」を継続する。

8. 環境配慮提案件数



- 各事業所での積極的な声掛け、および意見の吸い上げを行っているが、目標達成には至らなかった。しかし、新しく加わった2事業所からも提案があり、環境活動が認知されているものとして取組みを継続して行く。

9. リサイクル率（建設業）



- 建設リサイクルに関しては、コンクリート殻のリサイクル率を掲げているが、目標値100%を維持している。
- 分別状況の定期的な点検と整理を行った。

※二酸化炭素算出係数

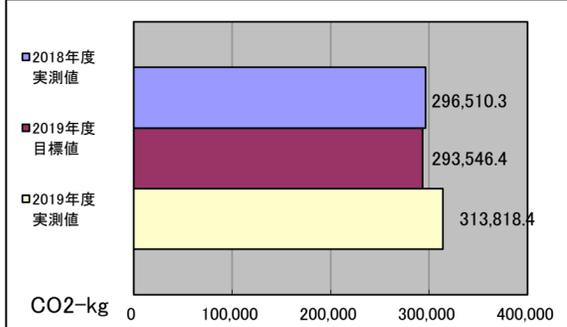
電気・・・0.418(kg co2/kwh) , 都市ガス(本社・中原工場、長津田工場)・・・2.108(kg co2)

プロパンガス(電設総合事務所、四ツ木事務所)・・・6.214(kg co2)

ガソリン・・・2.322(kg co2) , 軽油・・・2.624(kg co2) , 灯油・・・2.492(kg co2)

《 電設総合事務所 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- 室内温度の適正化。（夏季28℃、冬季21℃）
- 照明の点灯管理。不要な電気のOFF。
- エコドライブ10の実施。
- 自動車ごとの燃費確認。
- 季節に合わせた給湯設備の管理、運用。

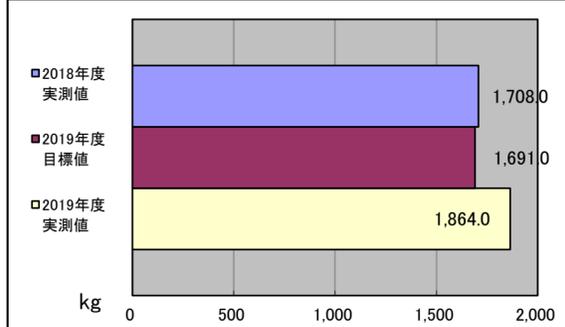
取組み結果

- 目標値に対して6.9%の増加と目標達成に至らなかった。
- 電力使用量はエアコン使用の抑制により、6.6%の削減。化石燃料は、社有車稼働の増加、発電機使用により増加したが、燃費は0.2km/l向上している。軽油使用は軌陸車レンタル等により増加。LPガス使用量は増加したが、1人当たりの使用量は減少傾向であった。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- 分別による廃棄量の削減。
- リサイクルの促進。
- 使い捨て商品の抑制。

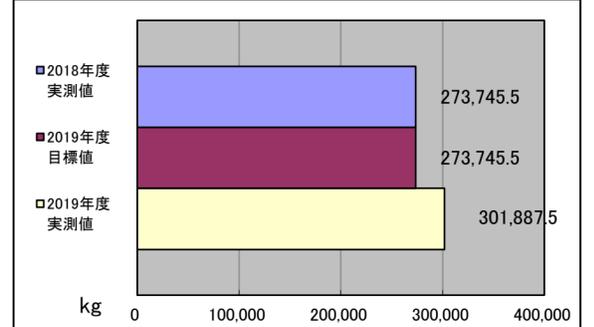
取組み結果

- 目標値に対して10.2%の増加で目標未達成となった。
- 1人当たりの排出量は、僅かではあるが減少している。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

3. 産業廃棄物



取組み施策

- 分別廃棄の促進。
- 資源リサイクルの促進。

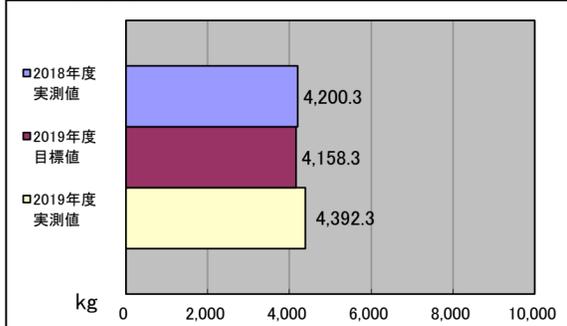
取組み結果

- 目標値に対して10.3%の増加で目標達成に至らなかった。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

4. 紙使用量



取組み施策

- 両面・縮小・裏面印刷の促進。
- 会議、打合せ時のプロジェクター等の使用によるペーパーレス化の推進。

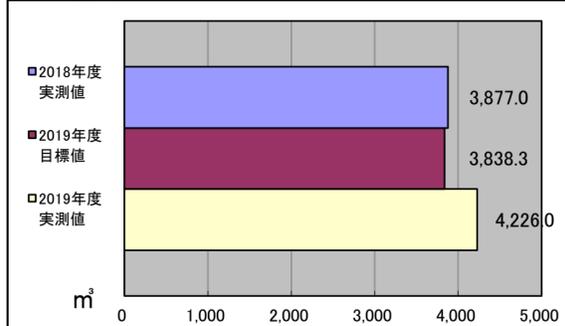
取組み結果

- 目標値に対して5.6%の増加で目標達成に至らなかった。
- 会議体における紙使用は減少しているものの、資格教育資料、報告書等の増加に因るものと考えられる。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

5. 排水量



取組み施策

- こまめな蛇口の開閉による節水。
- 風呂使用時の節水。（特にシャワー使用時）

取組み結果

- 目標値に対して10.1%の増加で目標未達成となった。
- 昨年と比較すると、人員が増加しており、1人当たりの使用量はガスと同様に減少している。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

6. 化学物質使用量

対象外

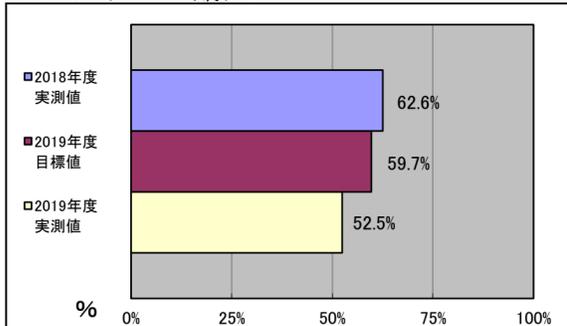
※当事業所は、PRTR法の対象外です。同法に定める化学物質は当事業所では取り扱っておりません。

取組み施策

取組み結果

次年度取組み

7. グリーン購入



取組み施策

- エコマーク商品（詰め替え商品含む）の優先購入の促進。

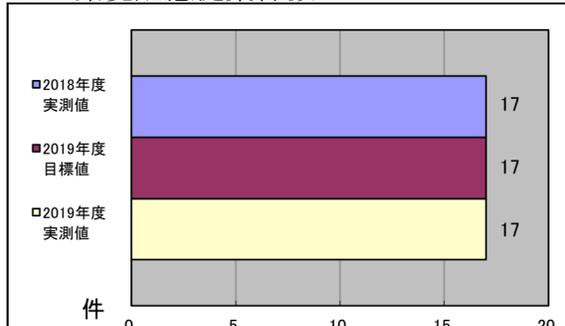
取組み結果

- 購入数量比率の目標59.7%に対し、52.5%と7.2ポイント下回っている。
- エコ商品の優先的購入をしているが、替芯や詰め替え商品にエコ製品が無い為、購入率が伸び悩んでいる。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

- 各工事部門へ社内外エコに対する提案の推進を図る。
- 四半期ごと3件の提案を目指す。

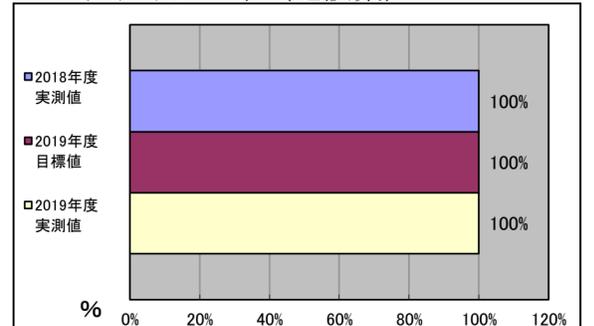
取組み結果

- 年間目標件数が達成できた。
- 環境配慮提案を増やす取組みが、効果を表し始めたものと考えられる。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。
- 提案の実例を発表する。

9. リサイクル率（建設業）



取組み施策

- コンクリート殻と砂利・石等の分別。
- 不純物を入れない管理・保管を行う。

取組み結果

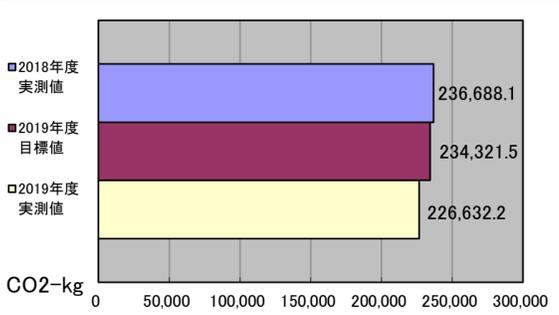
- リサイクル率100%を維持した。
- 排出量は、25.3%増加している。

次年度取組み

- 本年度の施策を継続推進する。

《 本社・中原工場 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- ・エアコン室温適正化。（夏期28℃、冬期22℃）
- ・エコドライブ10の継続と推進。
- ・社有車使用を避け、公共交通機関を利用。
- ・照明点灯管理

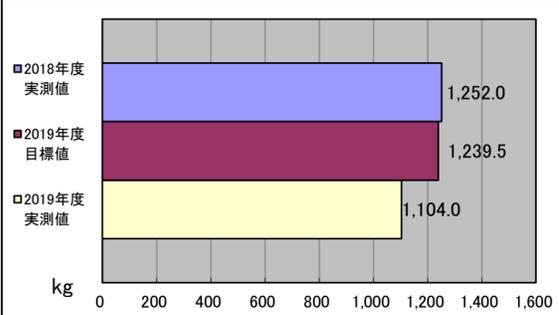
取組み結果

- ・目標値に対し3.3%削減と目標達成した。
- ・工場の稼働率、特に2、3月が低く電力使用量が減少した。
- ・自動車工事部の出張作業が減少し、ガソリン使用量が減少した。「燃費」では削減目標を達成している。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- ・廃棄物のリサイクルの推進。（シュレッダーくず、ペットボトル）
- ・一般廃棄物の分別促進。（ミックスペーパーの仕分けを推進）

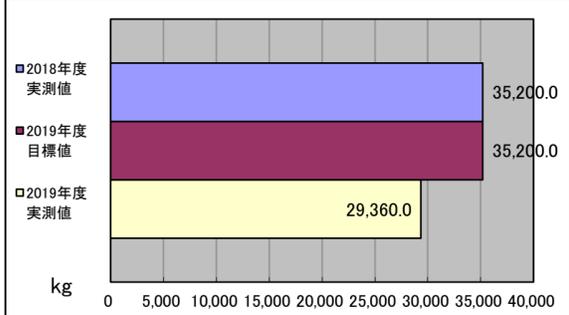
取組み結果

- ・目標値に対し10.9%の削減と目標を達成した。
- ・分別廃棄、リサイクルを進め、ゴミ袋が一杯になってから捨てる様にした。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、定期的な点検、声掛けに取組む。

3. 産業廃棄物



取組み施策

- ・廃棄物のリサイクルの推進。（金属、アルミ、鉄）（木くず、段ボール）
- ・産業廃棄物の分別促進。

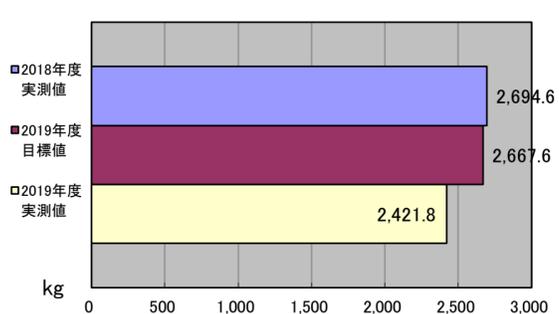
取組み結果

- ・目標値に対し16.6%の削減と目標を達成した。
- ・バスの工事の旧座席シート等を分別廃棄したことが削減につながった。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

4. 紙使用量



取組み施策

- ・紙使用量の削減（ミスプリントをなくす、両面印刷、裏紙使用、プロジェクター使用の促進）

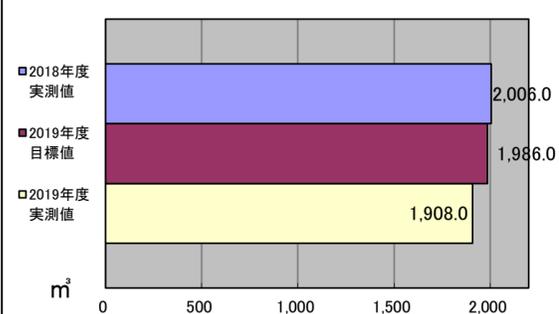
取組み結果

- ・目標値に対し9.2%の削減と目標を達成した。
- ・お客様への提出書類や業務内容により紙使用量が変動するが、裏紙使用や会議のペーパーレス化に努めたため達成することが出来た。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

5. 排水量



取組み施策

- ・手洗い等では適当な水量に絞り、流しっぱなしにしない。
- ・1か月毎の元栓チェック（漏水点検）。

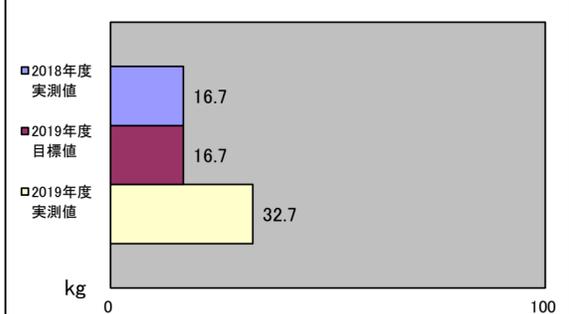
取組み結果

- ・目標値に対し3.9%の削減と目標を達成した。
- ・自動車工事部の稼働が昨年より少なかったため。
- ・バスの洗浄作業量に影響を受けるが、風呂や手洗いなど一人ひとりが節水を心掛けることが重要である。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

6. 化学物質使用量



取組み施策

- ・特定化学物質の排出管理
- ・塗装面積と塗布量の把握。
- ・環境配慮型塗料への切替えの促進。
- ・貯蔵倉庫内の適切な在庫管理。

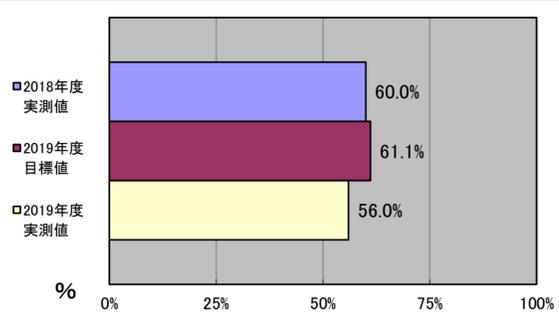
取組み結果

- ・目標値に対し96.0%増加、目標達成に至らなかった。
- ・お客様より指示された塗料がエコ塗料でなかったため。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、貯蔵庫内の在庫管理からも適量購入を推進する。

7. グリーン購入



取組み施策

- ・エコ商品の優先購入。

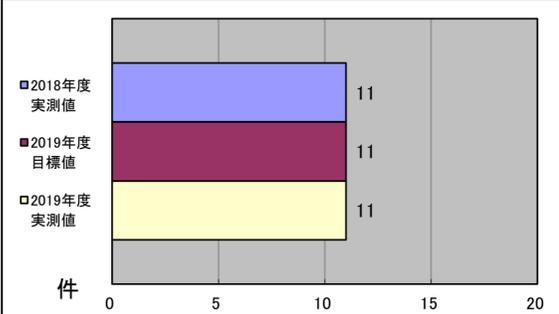
取組み結果

- ・エコ商品になりにくい品物の購入比率が増加した。
- ・代替品の購入に努める。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

- ・お客様に対して環境配慮提案の促進

取組み結果

- ・目標値に対し同数と目標達成に至った。
- ・年度末に提案件数が減少したが、各部への積極的な声掛けと意見の吸い上げにより成果が表れた。より広い視野での提案を拾いあげるように努める。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。各部への声掛けで環境配慮への意識を高め、提案を促していく。

9. リサイクル率（建設業）

対象外

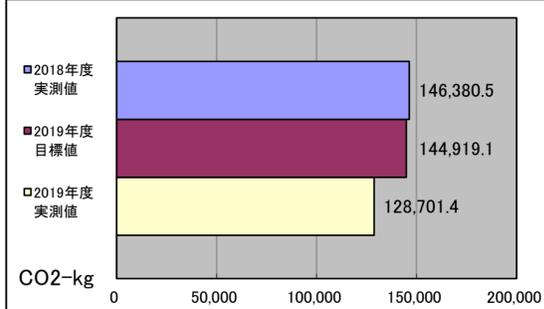
取組み施策

取組み結果

次年度取組み

《 長津田工場 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- ・エアコン室温適正化。（夏期28℃、冬期22℃）
- ・休憩時間の消灯・便座の蓋綴じ。
- ・公共交通機関の利用促進・エコドライブ10の励行。
- ・給湯設備の使用時間管理。

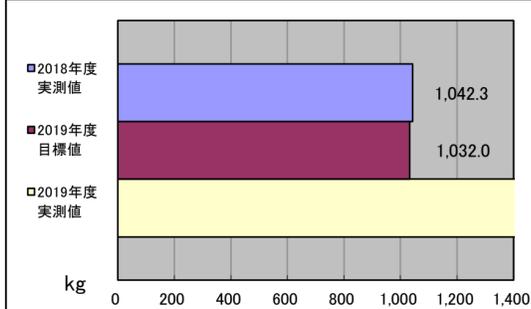
取組み結果

- ・目標値に対して 11.19%削減と目標達成に至った。
- ・電力使用が 13.43%削減、化石燃料は 0.24%増加であった。
- ・節電意識の浸透が感じられ、照明のLED化、人感センサーが付き無駄のない設備となった。
- ・工場以外での施工によりガソリン・軽油の使用量が増加した。
- ・夏場の浴槽使用制限を行い都市ガスは削減した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- ・マイ箸、マイボトルの推奨。
- ・廃棄物の分別の徹底。
- ・資源リサイクルの促進。

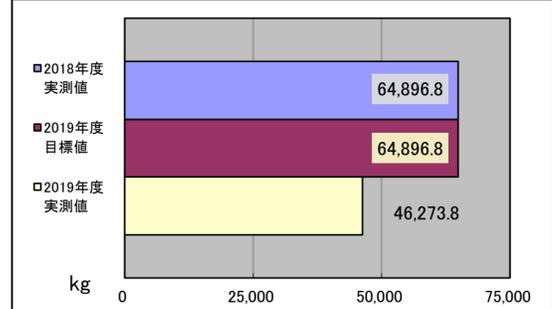
取組み結果

- ・目標値に対して 57.44%増加と目標達成に至らなかった。
- ・分別廃棄の徹底、資源リサイクルの促進による成果は出ているものの、産廃に入れていた一部の廃プラが、一般廃棄物扱いになったため。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、定期的な点検に取組む。

3. 産業廃棄物



取組み施策

- ・廃棄物は細かく裁断し、圧縮して廃棄。
- ・廃棄物の分別の徹底。
- ・資源リサイクルの促進。

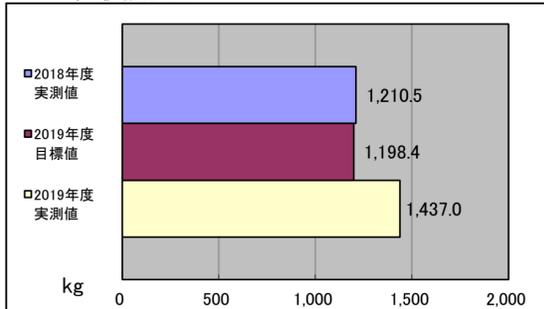
取組み結果

- ・目標値に対して 28.70%削減と目標達成に至った。
- ・撤去品の大きなゴミの発生が少なかった。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

4. 紙使用量



取組み施策

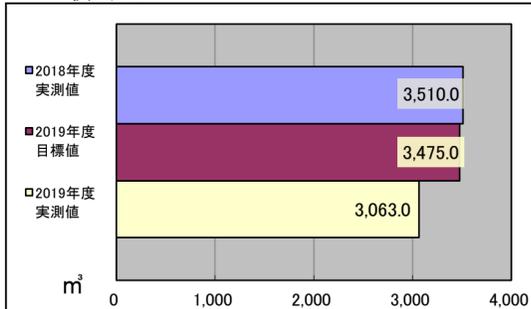
- ・印刷部数及び内容の確認。
- ・裏紙使用の継続

取組み結果

- ・目標値に対して 19.91%増加し目標達成に至らなかった。
- ・会議のペーパーレス化が進んでいるものの、発注関係や製作図等は紙の使用を続けている。

・本年度の施策に加え、会議資料のペーパーレス化をさらに推進する。

5. 排水量



取組み施策

- ・水道蛇口のコマメな操作で節水。
- ・節水の励行。

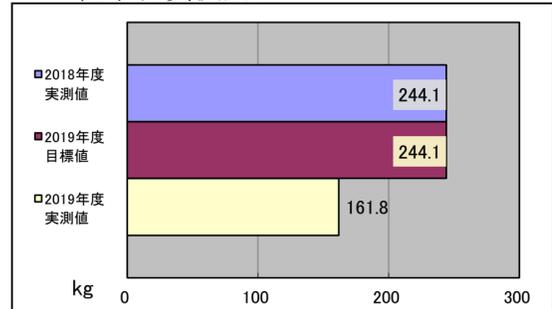
取組み結果

- ・目標値に対して 11.86%削減で目標達成に至った。
- ・日常の節水の励行やバルブ水圧調整、入浴時の節水、夏季における浴槽使用制限などによる。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

6. 化学物質使用量



取組み施策

- ・塗料の適正な配合量を把握。
- ・必要量の把握、過剰な在庫は持たない。
- ・油脂貯蔵倉庫の整理・整頓。

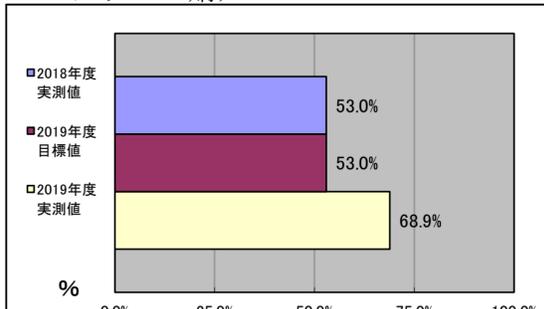
取組み結果

- ・目標値に対して 33.67%削減で目標達成に至った。
- ・エコ対応製品が増えてきており、なるべくシフトしている。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、貯蔵庫内の在庫管理からも適量購入を推進する。

7. グリーン購入



取組み施策

- ・環境ラベル製品の選定。
- ・家電製品購入時、省エネタイプの選定。

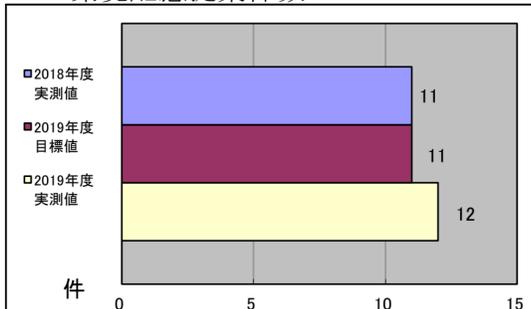
取組み結果

- ・2018年度の実績値 53.0%に対して 15.9ポイント増の 68.9%であった。エコ対応製品のある場合は優先して購入するようにしている。

次年度取組み

- ・次年度は購入に活かせるエコ商品情報収集を更に進め、評価指標も適切に見直す。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

- ・自然エネルギーの活用
- ・環境配慮提案、提出の促進。

取組み結果

- ・目標値より 1件増と目標達成に至った。
- ・小さなアイデアであっても意見を聞いている。

次年度取組み

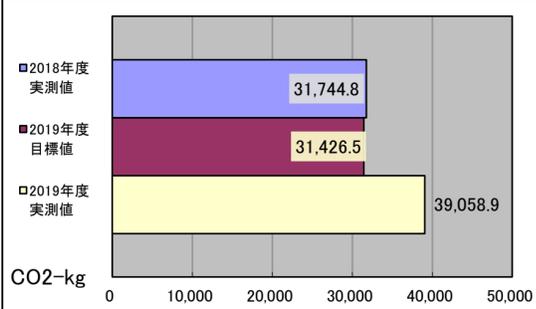
- ・次年度も施策を継続推進する。

9. リサイクル率（建設業）

対象外

《 四ツ木事務所 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- ・室内温度の適正化（夏期28℃、冬期20℃）
- ・照明の点灯管理・常用空調機のパターン運転。
- ・エコドライブ10の推進・使用目的に合った車種選定・タイヤ空気圧の定期的確認。
- ・ガス器具の効率化。

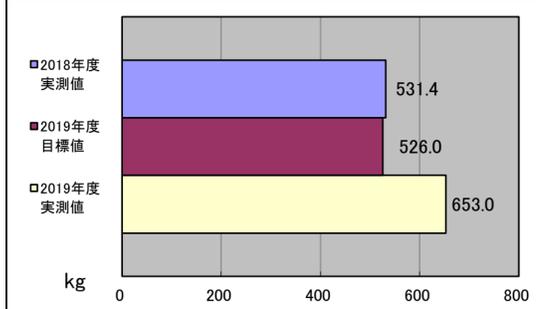
取組み結果

- ・目標値に対して 24.3%増加し目標未達成であった。新設、切替、撤去と工事が輻輳し稼働が増加した。
- ・電力使用量は事務所稼働増加で 8.4%増加した。
- ・化石燃料は社有車稼働増加でガソリンおよび軽油の使用量が増加した。
- ・ガスは、風呂使用の減少により削減された。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- ・分別の推進。
- ・リサイクルできる紙の削減。
- ・資源リサイクルの促進。

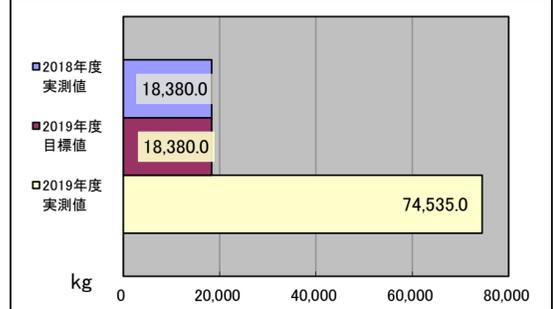
取組み結果

- ・目標値に対して 24.1%増加し目標未達成であった。
- ・10月以前の目標値は、空缶、ペットボトルの処分量が入っていない為、目標値を超えてしまった。10月以降は、事務所稼働の増加によるゴミの増加である。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

3. 産業廃棄物



取組み施策

- ・リサイクル化の促進。
- ・分別の推進。
- ・マニフェスト管理

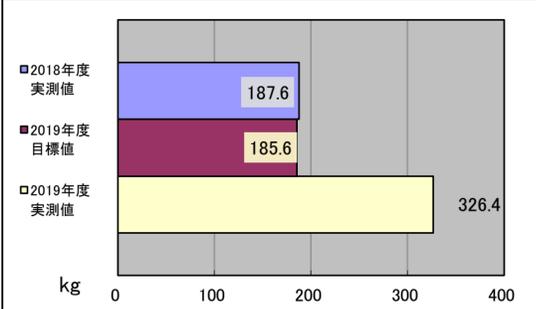
取組み結果

- ・目標値に対して 4倍の排出量であった。
- ・今年度は信号設備撤去工事も行い、プラスチックトラフを多く処分し、事務所内混合廃棄物、木くず等も処分したため排出量が増加した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

4. 紙使用量



取組み施策

- ・両面コピー・縮小コピーの促進。
- ・PDF化の推進。

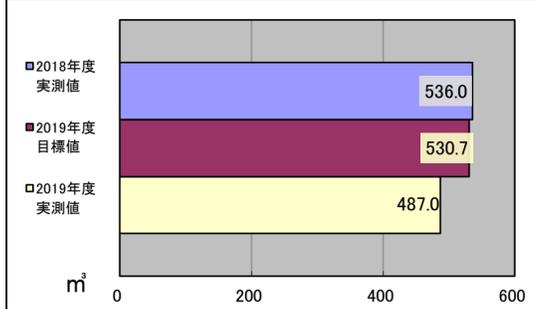
取組み結果

- ・目標値に対して 75.9%増加、目標未達成であった。
- ・所内では裏紙使用、ペーパーレス化に努めているが、切替時、竣工時の書類が多く、大幅に増加した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

5. 排水量



取組み施策

- ・こまめな蛇口の開閉。
- ・風呂水の再利用化。

取組み結果

- ・目標値に対して 8.2%削減し目標達成に至った。
- ・事務所稼働が増加したが、浴室給湯使用回数が少なかったためと考えられる。
- ・引き続き節水に努めてゆく。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

6. 化学物質使用量

対象外

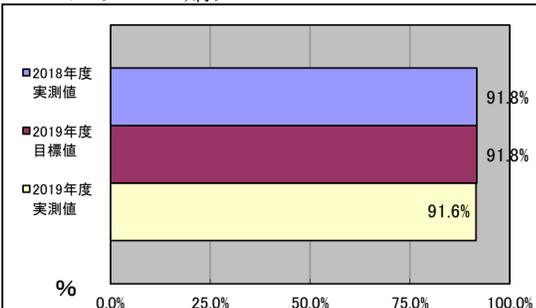
※当事業所は、PRTR法の対象外です。同法に定める化学物質は当事業所では取り扱っておりません。

取組み施策

取組み結果

次年度取組み

7. グリーン購入



取組み施策

- ・エコ商品購入の推進。使い切りから詰め替え用商品の購入。
- ・エコ商品でない購入品リストを活用し代替品選定、試行、評価。

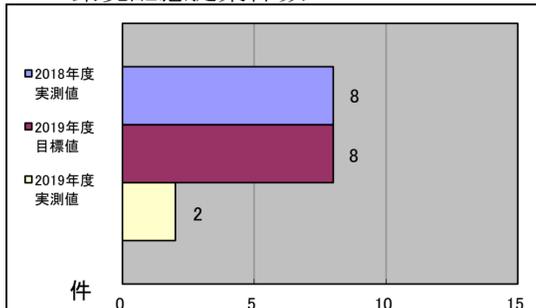
取組み結果

- ・目標数値 91.8%に対し、年間では 0.2ポイント低下の 91.6%の購入率となっている。100%を達成している月もあるが、代替品が無い商品を購入したため。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

- ・お客様に対する環境配慮提案。
- ・環境情報の水平展開。
- ・社員が提案できる環境づくり。
- ・事務局員からの声掛け。提案の拾い出し。

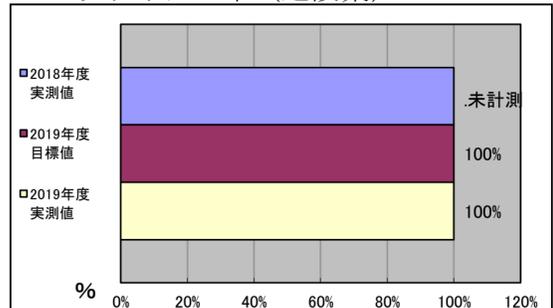
取組み結果

- ・年間目標 8件に対して 2件と目標未達成となった。
- ・提案の取り上げ、拾い出し等に取り組んでいるが、現状の取組みより更なる改善する内容がなく、目標達成に至らなかった。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

9. リサイクル率（建設業）



取組み施策

- ・コンクリート塊の分別（ガラ袋から取り出して分別）。
- ・マニフェスト管理

取組み結果

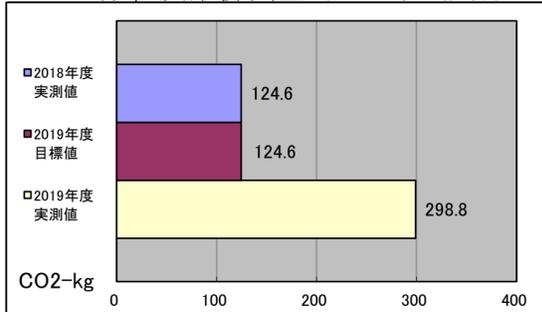
- ・事務所、新鎌ヶ谷資材置場のトラフおよびコンクリートガラを処分した。
- ・リサイクル率100%を維持した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

《 かしわ台事業所 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- ・室内温度の適正化。（夏期26℃、冬期22℃）
- ・休み時間の消灯。
- ・給湯設備の使用時間管理。

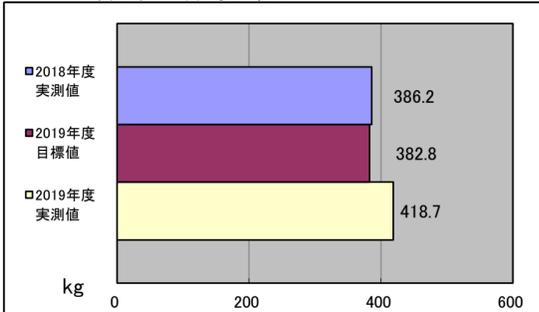
取組み結果

- ・電力使用量は測定できないので、定性目標を立ててCO2削減に取り組んでいる。
- ・化石燃料は、給湯用に灯油を使用しているが、使用量の把握が難しいために、購入量を使用している。4月に前年度使用分を補充したため、目標値に対して140%増と目標未達に至った。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- ・分別の推進。
- ・リサイクルできるゴミ。

取組み結果

- ・目標値に対して 8.5%増加と目標達成に至らなかった。上期が繁忙であったため、人員増となり廃棄物も増加した。

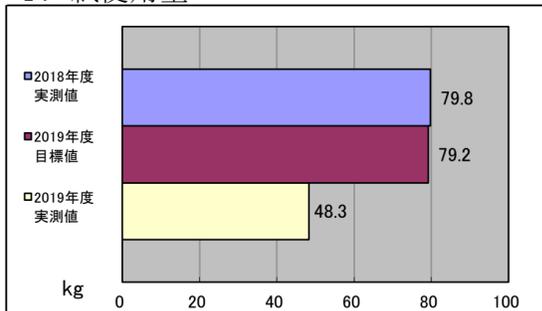
次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、定期的な点検に取り組む。

3. 産業廃棄物

対象外

4. 紙使用量



取組み施策

- ・両面コピー・縮小コピーの促進。
- ・PDF化の促進。
- ・コピー機操作方法の再確認。（ミスコピー防止）

取組み結果

- ・目標値に対して 39.0%削減で目標達成に至った。
- ・古紙の使用を推進したため。

次年度取組み

- ・本年度の施策に加え、会議資料のペーパーレス化をさらに推進する。

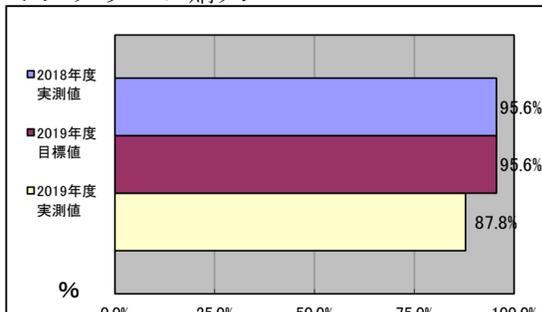
5. 排水量

対象外

6. 化学物質使用量

対象外

7. グリーン購入



取組み施策

- ・エコ商品購入の推進。
- ・エコ商品でない購入品リストを活用し、代替品選定、試行、評価。

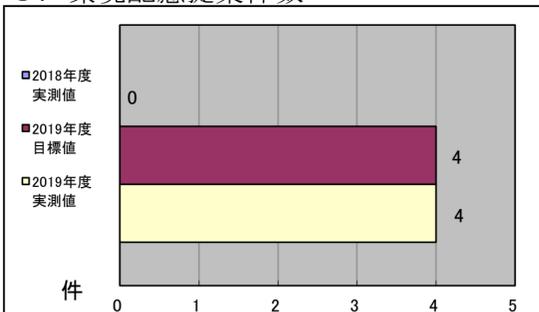
取組み結果

- ・100%を達成した月もあったが、必要とするものにエコ商品が無かったため、前年の 95.6%から 5.7ポイント減少し 89.9%となった。

次年度取組み

- ・次年度は購入に活かせるエコ商品情報収集を更に進め、評価指標も適切に見直す。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

取組み結果

- ・目標値の年間件数 4件と目標達成に至った。省エネに限らず、環境負荷低減のアイデアを募集している。

次年度取組み

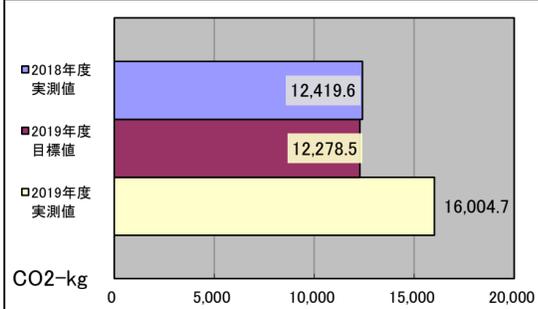
- ・次年度も施策を継続推進する。

9. リサイクル率（建設業）

対象外

《 西白井事務所 》

1. 二酸化炭素排出量（電力・化石燃料使用量）



取組み施策

- ・室内温度の適正化（夏期26℃、冬期22℃）
- ・照明の点灯管理・外室時OA機器の電源OFF
- ・エコドライブの推進、使用目的に合った車両選定。
- ・タイヤ空気圧の定期的確認。
- ・ガス使用量の削減。

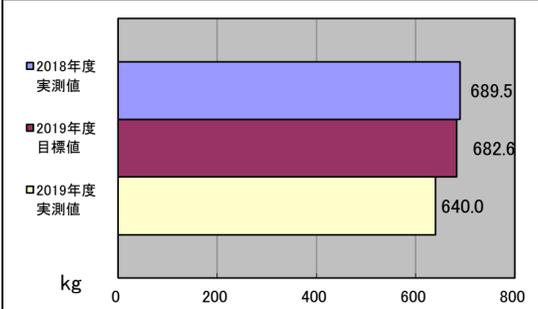
取組み結果

- ・目標値に対して 30.3%増加し目標未達成となった。
- ・電力は測定不可能のため、定性目標に取り組んでいる。
- ・化石燃料は、ガソリン車、軽油車ともに台数の増減があり数値的な比較はしにくいですが、大規模な切替工事等により使用量も増加した。
- ・都市ガスの使用量も増加した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

2. 事業系一般廃棄物



取組み施策

- ・分別の推進。
- ・リサイクルできるゴミ。

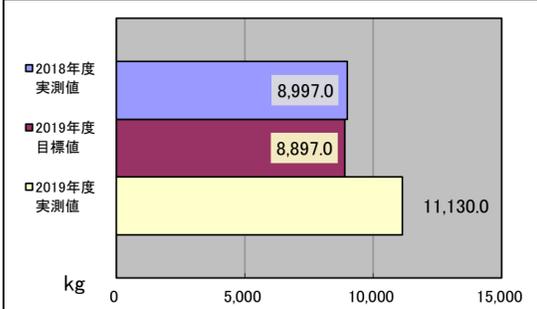
取組み結果

- ・目標値に対して 6.2%削減と目標を達成した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。また、定期的な点検に取り組む。

3. 産業廃棄物



取組み施策

- ・分別化の促進。
- ・リサイクル化の促進

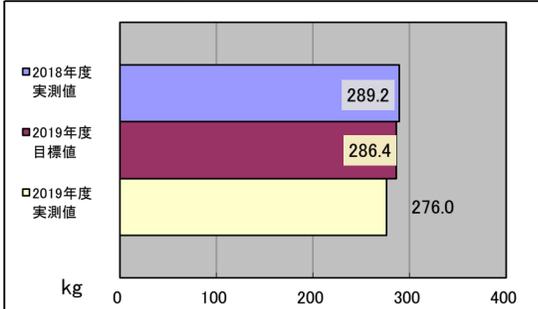
取組み結果

- ・目標値に対して 25.10%増加し目標未達成となった。
- ・切替工事現場での作業に伴い、大量の廃棄物が発生した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

4. 紙使用量



取組み施策

- ・プロジェクター利用によるペーパーレス化の推進。
- ・両面コピー・縮小コピーの促進。
- ・PDF化の促進

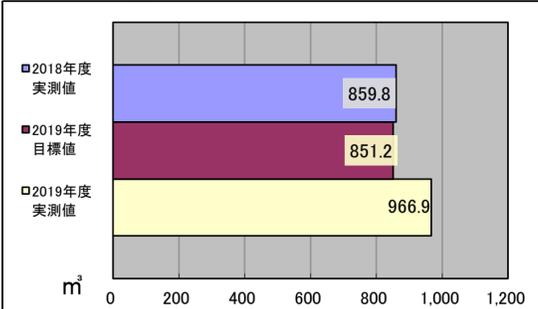
取組み結果

- ・目標値に対して 3.63%削減で目標達成に至った。
- ・年度末の提出書類等で増加したが、年間を通しては削減されている。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

5. 排水量



取組み施策

- ・こまめな蛇口の開閉、節水励行。

取組み結果

- ・目標値に対して 13.59%増加し目標未達成となった。
- ・ガス使用量と共に年間を通して仕事量の増加に伴い水の使用量も増加した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

6. 化学物質使用量

対象外

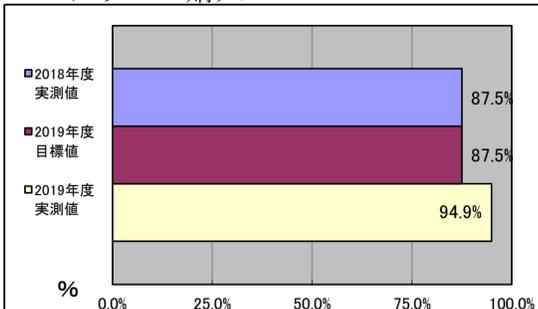
※当事業所は、PRTR法の対象外です。同法に定める化学物質は当事業所では取り扱っておりません。

取組み施策

取組み結果

次年度取組み

7. グリーン購入



取組み施策

- ・エコ商品購入の促進
- ・エコ商品でない購入品リストを活用し代替品選定、試行、評価。

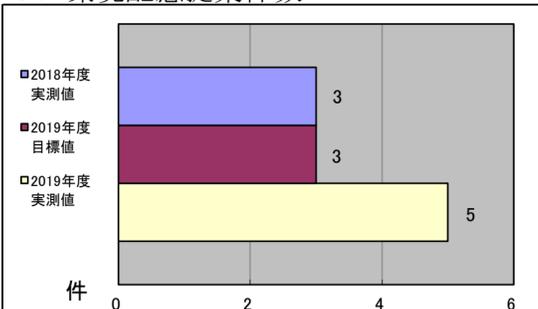
取組み結果

- ・2018年度の実績値 87.5%に対し 4.1ポイント増加の 91.6%の購入率となっている。
- ・施策は継続して実施している。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

8. 環境配慮提案件数



取組み施策

- ・社内会議等で業務改善内容を見える化(メモ)しエコ提案になるものを選定する。

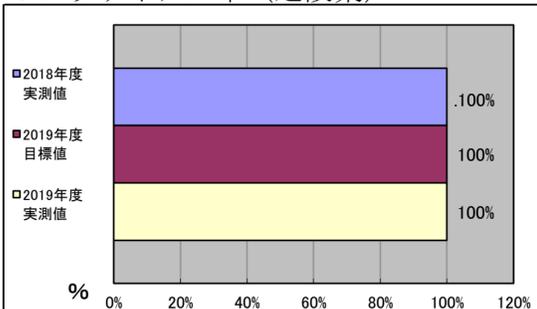
取組み結果

- ・目標値に対して 2件多く目標達成に至った。
- ・提案の取り上げ、拾い出しを積極的に行ったとともに、提案内容の実施にも精力的に取り組んでいる。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

9. リサイクル率（建設業）



取組み施策

- ・コンクリート塊の分別（ガラ袋から取り出して分別）
- ・不純物を入れない点検・保管を行う

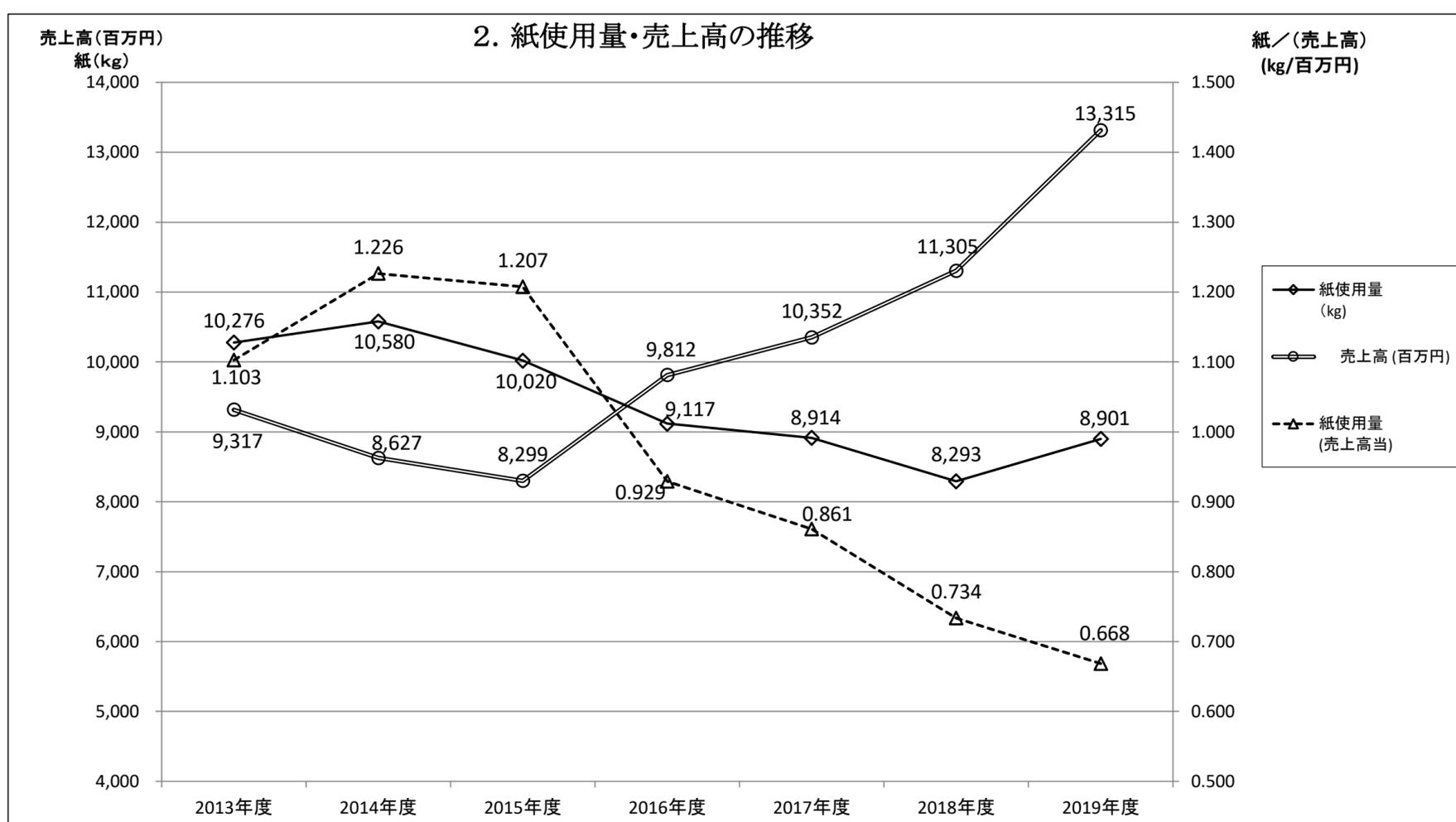
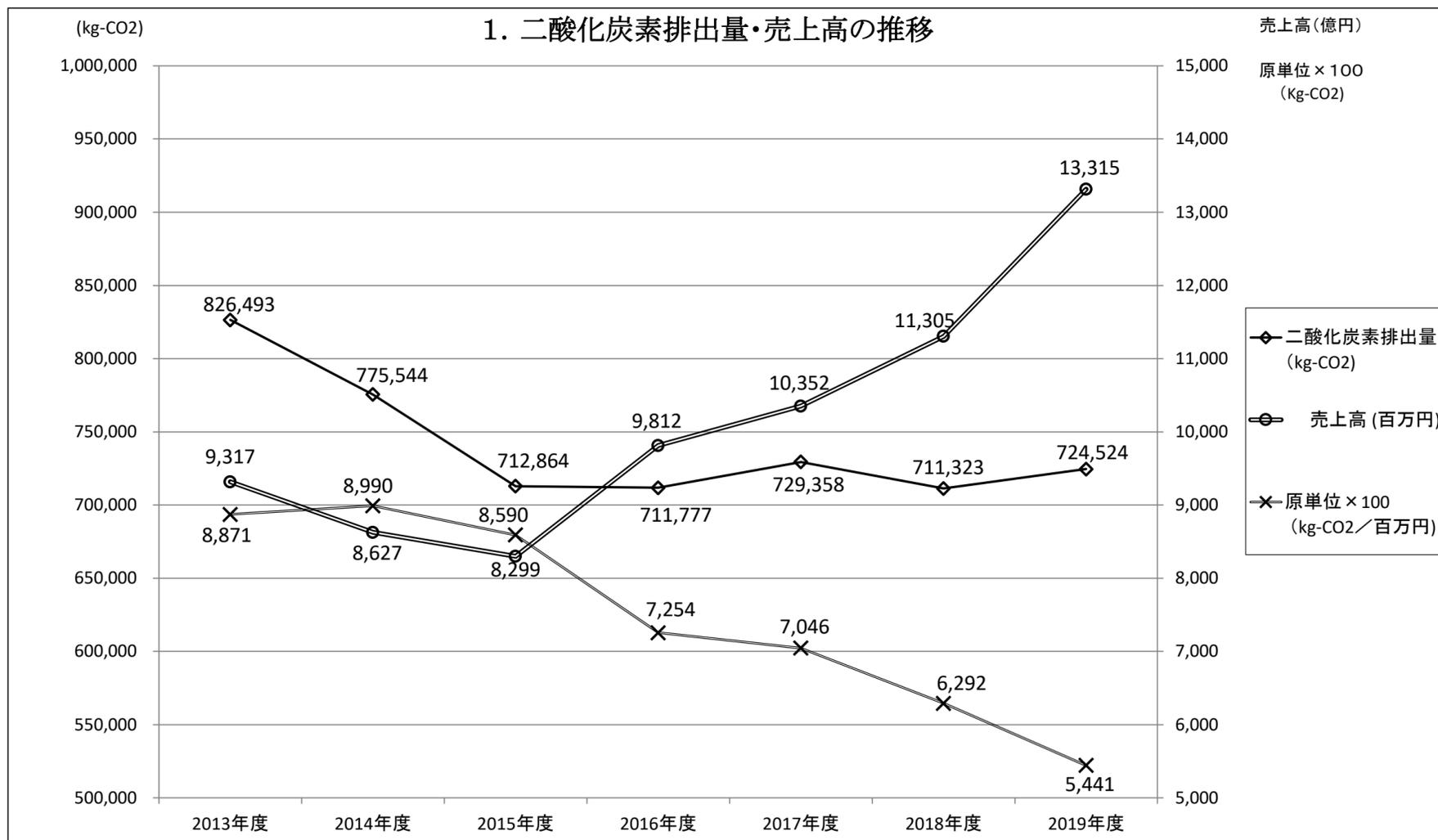
取組み結果

- ・リサイクル率100%を維持した。

次年度取組み

- ・本年度の施策を継続推進する。

10. 過去6年間の二酸化炭素排出量・紙使用量の推移



全社・対象事業所：①本社・中原工場 ②長津田工場 ③電設総合事務所 ④四ツ木事務所 ⑤かしわ台事業所 ⑥西白井事務所

環境負荷項目	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度 / 2013年度
1. 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	826,493	775,544	712,864	711,777	729,358	711,323	724,524	12.3%の削減
売上高 (百万円)	9,317	8,627	8,299	9,812	10,352	11,305	13,315	—
二酸化炭素排出量 (売上当) × 100 (kg-CO2/百万円)	8,870.8	8,989.7	8,589.8	7,254.2	7,045.6	6,292.1	5,441.4	38.7%の削減
2. 紙使用量 (kg)	10,276.0	10,580.0	10,020.0	9,117.0	8,914.0	8,293.0	8,901.0	13.4%の削減
3. 紙使用量 (売上当) (kg/百万円)	1.103	1.226	1.207	0.929	0.861	0.734	0.668	39.4%の削減

※ 2018年度以前は ⑤かしわ台事業所、⑥西白井事務所 は含まない。

11. 環境活動報告(緊急事態訓練)

緊急事態訓練の実施状況

当社では毎年、環境上の緊急事態として、火災発生、有機溶剤の漏洩・流出など、幾つかの事項を想定して緊急事態訓練を行っています。

四ツ木事務所の「避難はしごってどう使うの?」との疑問から、訓練の実施となり、他事業所にも展開しての新たな訓練の実施へと、広がっています。今回はその中から幾つかご紹介します。

担架・避難はしごの使用訓練(本社・中原工場)



担架の使い方訓練



避難はしごの設置訓練

本社・中原工場では、担架の使い方の訓練を行いました。担架の存在の解明から始まり訓練の実施へとなりました。実際の訓練では、保管場所の説明、構造の解説、搬送実演、片付けを行いました。担架を見たことはあるが、触れたことは無かった人に、持ち上げた時の重さが記憶に残る訓練となった事でしょう。また前年には、避難はしごの設置訓練も行われています。

災害用トイレの使用訓練(電設総合事務所)



非常用トイレ部材



使用後処理訓練

電設総合事務所では、緊急事態訓練として災害用トイレの使用訓練を行いました。「災害トイレってどんなもの?」、「使い方は?」、「設置場所は?」など、解らないことが多かったために実施しました。事前に作成した手順書に従い、組み立て方と、凝固剤を模擬使用し、使用後処理を体験しました。実際に使用して、新たな問題も出てきましたが、いざという時の不安の解消になる訓練でした。

12. 環境関連法規とその遵守状況

項目	法令名称 ※・印は都県市区条例	事業活動・環境活動	遵守状況					
			本社・ 中原工場	電設総合 事務所	長津田 工場	四ツ木 事務所	かしわ台 事業所	西白井 事務所
1. 環境基本法 地球温暖化対策	○環境基本法	・持続可能な社会の構築に向けた環境活動に主体的に取り組んでいる	○	○	○	○	○	○
	○地球温暖化対策の推進に関する法律	・EA21環境活動において実施し、CO2削減に取り組んでいる また、HPにおいて公開している	○	○	○	○	○	○
	○省エネ法	・EA21環境活動において実施している	○	○	○	○	○	○
	○環境配慮促進法	・HPに情報公開している	○	○	○	○	○	○
	○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	・汚水、騒音、粉塵、振動等の法律の遵守	○	—	○	—	○	—
	・川崎市環境基本条例	・川崎市の環境施策への協力	○	○	—	—	—	—
	・川崎市地球温暖化対策に関する条例	・川崎市の地球温暖化対策への協力	○	○	—	—	—	—
	・横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	○	—	—	—
	・横浜市生活環境の保全等に関する条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	○	—	—	—
	・東京都環境基本条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	—	○	—	—
	・東京都省エネルギーの推進及びエネルギーの安定的な供給の確保に関する条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	—	○	—	—
	・千葉県環境基本条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	—	—	—	○
・海老名市環境基本条例	・EA21環境活動において実施している	—	—	—	—	○	—	
2. 大気汚染 自動車公害	○大気汚染防止法	・局所排気装置を設置している ・ディーゼル特定自動車の排出ガス規制に対する基準適合	○ —	— ○	○ ○	— ○	○ —	— ○
	○道路運送車両法	・日常点検、定期点検の実施、安全運転管理者の選定	○	○	○	○	○	○
	○自動車Nox・PM法	・Nox・PM排出基準適合車使用 ・排出量がより少ない車両へ転換	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	・神奈川県ディーゼル車の運行規制に関する条例	・ディーゼル特定自動車の排出ガス規制に対する基準適合	—	○	○	—	—	—
	・川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	・エコドライブ10の推進 ・低公害車の利用、公共の交通機関の利用	○ ○	○ ○	— —	— —	— —	— —
	・かわさきエコドライブ宣言登録制度	・エコドライブの推進	○	○	—	—	—	—
	・横浜市生活環境の保全等に関する条例	・自動車等の使用の抑制	—	—	○	—	—	—
	・都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・EA21環境活動において実施している ・粒子状物質排出基準東京都内を運行するディーゼル車に対する規制	— —	— ○	— —	○ ○	— —	— ○
	・葛飾区違法駐車等の防止に関する条例	・違法駐車等の防止	—	—	—	○	—	—
	・千葉県環境保全条例	・アイドリングストップ	—	○	—	○	—	○
	・千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例	・粒子状物質排出基準千葉県内を運行するディーゼル車に対する規制	—	○	—	○	—	○
3. 廃棄物	○廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・「産業廃棄物委託契約時に運搬および処分許可書の確認」「廃棄物の保管基準」「最終処分場までの管理票(マニフェスト)による管理」「管理票(マニフェスト)の適正な管理」「立ち入り検査の協力」を行っている	○	○	○	○	○	○
	・川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	・分別廃棄と資源リサイクルの実施	○	○	—	—	—	—
	・川崎市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例	・廃棄物発生の抑制、施策への協力 ・再生利用の推進、簡易包装の推進 ・自己処理責任及び廃棄物の適正排出の推進	○ ○ ○	○ ○ ○	— — —	— — —	— — —	— — —
	・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例	・都道府県の許可を受けている処理会社と委託契約 ・減量化及び資源化 ・保管場所の設置、管理票(マニフェスト)の管理	— — —	— — —	○ ○ ○	— — —	— — —	— — —
	・千葉県環境保全条例	・廃棄物の適正処理のための施策	—	—	—	—	—	○

項目	法令名称 ※・印は都県市区条例	事業活動・環境活動	遵守状況					
			本社・ 中原工場	電設総合 事務所	長津田 工場	四ツ木 事務所	かしわ台 事業所	西白井 事務所
4. 化学物質等	○PRTR法(化管法) ・川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例 ・川崎市化学物質取り扱い事業所周辺の環境リスク評価の手引き ・横浜市生活環境の保全等に関する条例	・対象物質の年間排出量1トン未満のため届け出義務なし ・対象物質の購入時にMSDSを取り寄せている ・対象物質は貯蔵庫に保管している	○ ○ ○	— — —	○ ○ ○	— — —	— — —	— — —
		・指定された場所に保管、成分数値の記録管理 ・特定化学物質の排出管理	○ ○	— —	— —	— —	— —	— —
		・測定値以下の操業	○	—	—	—	—	—
		・化学物質の数量を把握し適正な管理に努めている ・購入時にSDSを取り寄せている、貯蔵庫に保管している	— —	— —	○ ○	— —	— —	— —
5. 消防(危険物)関係	○消防法 ○毒物及び劇物取締法 ・川崎市火災予防条例 ・横浜市火災予防条例	・防火管理者の届出 ・危険物は貯蔵庫を設置し管理 ・消防法により消防設備の設置と管理をしている	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	— — ○	○ — —	— — ○
		・貯蔵場所は施錠管理し盗難、紛失防止に努めている ・許可を受けた業者と委託契約し適正な処理をしている ・緊急事態訓練を行い飛散、漏洩、流出防止に努める	— — —	— — —	○ ○ ○	— — —	— — —	— — —
		・HPエアコンが容易に点検可能、防振処置を実施 ・指定数量未満の危険物貯蔵庫の取り扱いと技術基準	○ ○	— —	— —	— —	— —	— —
		・乾燥設備の条例遵守、作業中の防火管理	—	—	○	—	—	—
6. PCB	○PCBの適正な処理の推進に関する特別措置法 ・川崎市PCB廃棄物の適正管理の手引き	・自らの責任において確実かつ適正に処理する ・管理保管方法を都道府県知事に届け出ている ・処分の依頼をしている ・「譲渡及び譲受けの制限」の遵守	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	— — — —	— — — —	— — — —	— — — —
		・所定の場所で固定保管、流出訓練の実施	○	○	—	—	—	—
7. フロン排出抑制	○フロン排出抑制法	・対象機器の定期点検、簡易点検、点検記録簿の保管	○	○	○	○	○	○
8. 土壌汚染	○土壌汚染対策法	・本社・中原工場「2009年5月土壌調査の実施」 ・本社・中原工場「2009年6月対策終了」	○ ○	— —	— —	— —	— —	— —
9. 下水道、水質汚濁	○下水道法 ○水質汚濁防止法 ・川崎市下水道条例 ・横浜市下水道条例 ・横浜市生活環境の保全等に関する条例	・使用開始の届出を行っている ・特定施設使用開始の届出	○ ○	— —	○ ○	— —	— —	— —
		・除害施設の届出を行なっている	—	—	○	—	—	—
		・排水設備の設置と届出	○	—	—	—	—	—
		・除害施設の届出、除外施設管理責任者の選任 ・水質の測定	— —	— —	○ ○	— —	— —	— —
10. 臭気	○悪臭防止法 ・川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例	・廃棄物、局所排気装置設置は川崎市横浜市条例を遵守	○	—	○	—	—	—
		・塗装場以外での塗装は行わない	○	—	—	—	—	—
11. 騒音・振動	○騒音規制法 ○振動規制法 ・川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例 ・横浜市生活環境の保全等に関する条例	・川崎市、横浜市条例で規制している騒音規制基準の遵守 ・騒音測定を定期的に行っている	○ ○	— —	○ ○	— —	— —	— —
		・川崎市、横浜市条例で規制している振動規制基準の遵守 ・特定施設の届出を行っている	— —	— —	○ ○	— —	— —	— —
		・騒音測定を定期的に行っている ・拡声器騒音の規制、朝礼マイクの音量調整	○ ○	— —	— —	— —	— —	— —
		・騒音測定を定期的に行っている	—	—	○	—	—	—
12. 労働安全衛生	○労働安全衛生法	・危険物貯蔵庫を設置している ・化学物質リスクセサメントを実施している ・定期健康診断を実施している ・労働基準監督署に有害物質の届出を行っている	○ ○ ○ ○	— — ○ —	○ ○ ○ ○	— — ○ —	— — ○ —	— — ○ —
		・事業者及び国民の責務 ・環境配慮製品を優先購入(文房具)	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
		・廃棄物の循環処分、資源リサイクルの促進 ・事業者の責務、再生品の使用促進、グリーン購入	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
		・再生資源、再生部品の利用努力 ・電車機器等の再利用	○ ○	○ —	○ ○	○ —	○ —	○ —
14. リサイクル	○循環型社会形成推進基本法 ○リサイクル法 ○使用済自動車の再資源化等に関する法律 ・葛飾区廃棄物の処理及びリサイクルに関する条例	・長期の使用 ・使用済自動車の再資源化 ・「バス再生自動車工場の譲渡」受注	○ ○ ○	○ ○ —	○ ○ —	○ ○ —	— — —	○ ○ —
		・自らの責任において適正に処理、指定業者と契約 ・事業系廃棄物の減量、分別廃棄の徹底 ・廃棄物の運搬、処理は許可取得会社と契約 ・敷地内に事業系一般廃棄物の保管場所を設置	— — — —	— — — —	— — — —	○ ○ ○ ○	— — — —	○ ○ ○ ○

※環境関連法規等の遵守状況を確認し、評価した結果、違反はありませんでした。

以上

13. 代表者による全体評価と見直し結果

代表者による全体評価			
No.	環境活動項目	目標達成率・状況	項目別評価
1	二酸化炭素排出量の削減 (電力・化石燃料)	1. 10%増加・未達成	・電力使用量は、照明のLED化や人感センサー付器具の導入に加え、大型連休、冷夏の影響により6.90%削減された。化石燃料は出張作業の増加、工事の輻輳によりガソリン、軽油共使用量が増加した。ガスの使用量に関しては各事業所毎に独自の施策に取組んだ結果、CO2換算値で0.73%の削減となっている。
2	事業系一般廃棄物の削減	13. 51%増加・未達成	・各事業所共にゴミの分別に対する意識や行動は浸透してきている。長津田工場の廃プラの一部が産廃から一般廃棄物へ、四ツ木事務所の缶や瓶、ペットボトルの処分方法が変更となったことも、その要因と考えられる。電設総合事務所では人員が増えたため排出量が増加したが、1人当たり排出量は減少している。
3	産業廃棄物の削減	15. 47%増加・未達成	・産業廃棄物排出量は業務内容による影響が大きい。長津田工場では撤去工事が減少し、中原工場では、撤去品の分別作業が進んだため、排出量が減少した。電設総合事務所、四ツ木事務所では撤去品の廃棄が増加し、西白井事務所では、溜まってきた産業廃棄物を処理したために目標未達成となった。
4	紙使用量の削減	3. 81%増加・未達成	・会議等のペーパーレス化を推進し、タブレットやプロジェクターを等用いた会議が主流となり、紙使用が削減されているが、電設事業本部各事業所において、切替工事や竣工を迎える工事が多く、提出書類や打合せ資料の紙使用が増加した。
5	排水量の削減	0. 28%削減・達成	・各事業所共水使用の多くは、ガスと同様風呂での使用である。長津田工場では夏季に浴槽の使用を制限している。中原工場では、バスの入場時に洗車を行っており、入場車数に左右される。西白井事務所では、晴天時に敷地内に散水する必要が有る。節水は、すべての従業員が取組める活動の一つであり、目標が達成されたことは、環境意識の向上に繋る。
6	化学物質使用量の削減	25. 40%削減・達成	・化学物質使用量は、工事の内容により数値が大きく変動する。中原工場並びに長津田工場ではエコフリート化が進み、大幅な削減に繋がった。
7	グリーン購入の促進	5. 4ポイント増加・達成	・環境にやさしいグリーン商品が購入時の選択肢が増えて来たために、100%を達成したケースも出てきている。かしわ台事業所および西白井事務所は、100%に近い値が続いている。2017年度版ガイドラインでは必須項目でなくなるが、環境問題を身近に感じることが出来る取組みとして「グリーン購入の促進」を続けてゆく。
8	環境配慮	3件減少・未達成	・各事業所での積極的な声掛け、および意見の吸い上げを行っているが、目標達成には至らなかった。しかし、新しく加わった2事業所からも提案があり、環境活動が認知されているものとして取組みを継続して行く。
9	リサイクル率(建設業)	100%・達成	・建設リサイクルに関しては、コンクリート殻のリサイクル率を掲げているが、目標値100%を維持している。 ・分別状況の定期的な点検と整理を行った。
10	環境教育の実施状況	①環境活動意識の向上 ②緊急事態訓練の実施	・エコアクションの活動を伝える場が増え、環境に対する意識の向上が図られたことが、各項目における原単位での増加の抑制に表れている。 ・緊急事態とは何かを考え、訓練内容を検討・実施している。緊急事態を広く捉え、様々な視点から緊急事態を考えていくことが大切である。
11	環境関連法規とその遵守	①事業活動の法令遵守 ②法令改正の定期確認	・環境に関する法令は遵守された。新たに環境活動の対象となった事業所の地域の条例も網羅しているが、法規の持つ意味を真摯に捉え、遵守していくことが大切である。
代表者による見直し結果			
<p>1. 環境方針 現行方針を継続し2020年度も同様とする。</p> <p>2. 環境目標 当社の取組む環境活動内容は、売上高(=操業度)や、受注工事内容に影響を受ける。加えて職場の環境も常に変化しているため、各環境活動の目標値は適切に見直す。</p> <p>3. 環境活動計画 問題なし</p> <p>4. 実施体制(環境経営システム) 問題なし</p> <p>5. その他 2020年度の環境活動については、「2017年度版ガイドライン」を基に審査受審する。</p>			